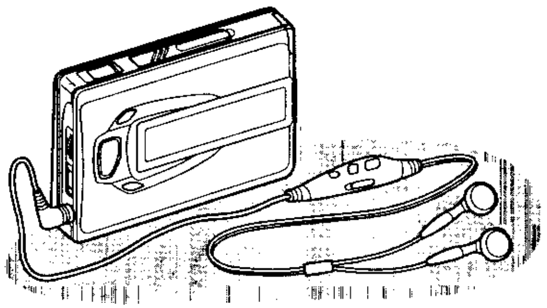
取扱説明書

HITACHI

— 品質を大切にする〈技術の日立〉—

日立キャプション機能付
ヘッドホンステレオプレーヤー
CP-C1形



このたびは、日立キャプション機能付ヘッドホンステレオをお求めいただきまことにありがとうございました。

ご使用の前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。なお、お読みになった後はいつでも見られる所に保証書、ご相談窓口一覧表と共に大切に保管してください。

目次

安全上のご注意 2
特長 6
各部のなまえ 7
・本体・液晶ディスプレイ・リモコンユニット
電源について 9
・充電池で使うには
・充電池/乾電池の入れかた
・バッテリーチェックについて
テープをお聴きになる前に 12
・カセットテープの入れかた
・カセットテープを取り出すには
・操作スイッチについて
テープを聴くには 14
・再生モードについて
・音量を調節するには
・再生中に反対の面を聴くには
・テープを止めるには
早送り/巻戻し、スキップ選曲(ASAP)をするには 16
・早送りをするには
・巻戻しをするには
・再生中に次の曲を聴きたいときは
・再生中の曲をもう一度聴きたいときは
・早送り/巻戻しを停止するには
リピート再生するには 18
・リピート再生
・リピート再生を途中でやめるには
スリープ機能を設定するには 19
・スリープ機能を解除するには
使用テープについて 19
キャプションテープ再生時のご注意 20
お手入れのしかた 21
・ヘッド部の清掃
・本体のお手入れ
故障かな？と考える前に 22
仕様 23
保証とアフターサービス（必ずお読みください。） .... 裏表紙

安全上のご注意

本機を正しく安全にご使用いただくために

＜ご使用の前に＞

絵表示について　この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠警告

■万一異常が発生したら

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに充電器をコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して修理をご依頼ください。

●万一、充電器内部に水などが入った場合は、充電器をコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●万一、充電器を落としたり、破損した場合は使用しないでください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●万一、充電器内部に異物が入った場合は、充電器をコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠警告

■充電について

●充電するときは、付属の充電器をお使いください。指定以外の充電器を使用すると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となります。

■表示以外の電圧で使用しないでください

●表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

■風呂場などでは使用しないでください

●風呂場では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

●本機に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

■雷が鳴り出したら

●雷が鳴り出したら、充電器には触れないでください。
感電の原因となります。

接触禁止

⚠警告

■電池について

●乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

■ふたをはずしたり、改造しないでください

●充電器の内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
(特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。)

●充電器は絶対に分解しないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

分解禁止

●本機を改造しないでください。
火災・感電の原因となります。

分解禁止

■交通事故に注意してください

●自動車・オートバイなどの運転中、または自転車に乗りながら絶対に本機を使用しないでください。
交通事故などの原因となります。

●歩行中に本機を聴く場合(特に踏切や交差点など)は、周囲の交通に十分注意してください。
交通事故などの原因となります。

安全上のご注意（つづき）

⚠注意

■キャプションテープの取り扱いについて

●**キャプションテープは、特殊録音されていますので、キャプション機能対応の機種以外ではご使用にならないでください。**
デジタルノイズにより聴力障害を生じることがあります。

■音量について

●**電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。**
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

■ご使用になる場所について

●**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。**落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

●**窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。**キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

●**湿気やほこりの多い場所に置かないでください。**火災・感電の原因となることがあります。

●**調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。**
火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

■電池の使用は

●**電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス(+)とマイナス(−)の向きに注意し表示通りに入れてください。**間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

●**電池は金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。**電池のプラス⊕端子と⊖端子間がショートし、電池の破裂・液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

●**電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。**電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

●**充電式電池に張ってあるビニールカバーをはがさないでください。**ショートして電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

●**指定以外の電池は使用しないでください。**電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

●**長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。**電池から液がもれて火災・けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は電池ケースについた液を良く拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

⚠注意

■充電器の使用は

●充電終了後は充電器をコンセントから抜いてください。
そのままにしておくと火災の原因となることがあります。

●充電器を、布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。
熱がこもり、ケースが変形し、火災の原因となることがあります。風通しのよい状態でご使用ください。

■長期間ご使用にならないとき

●旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず充電器をコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

■特に小さなお子様のいるご家庭では

●お子様がカセットテープ挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

■音量について

●ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

⚠注意

■日頃のお手入れについて

●お手入れの際は安全のため充電器をコンセントから抜いて行ってください。
感電の原因となることがあります。

●5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
なお、掃除費用については、販売店などにご相談ください。

特長

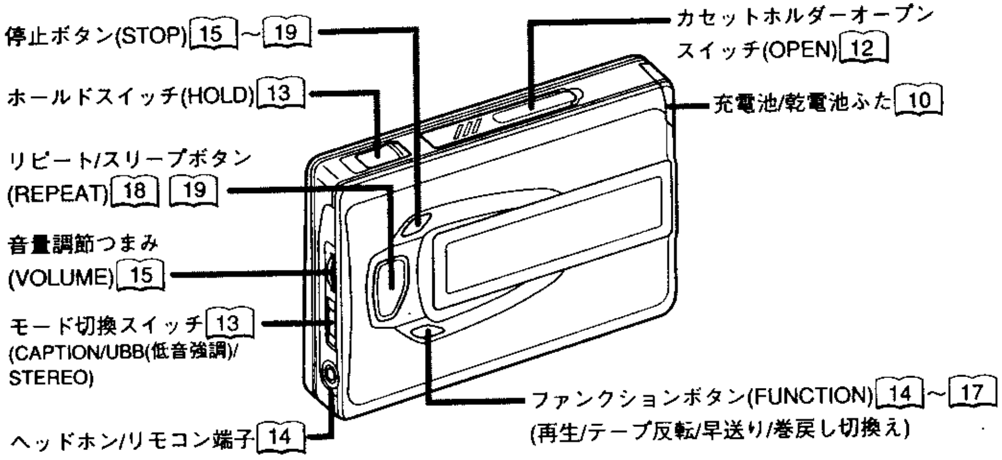
1. **英語学習に便利なキャプション機能※**
   音声と同時にスペルが表示されますので、ヒアリングの学習に便利です。
2. **見やすい液晶ディスプレイ**
   (20文字×2行=40文字表示)
3. **簡単に聴き直せるリピート機能（4秒／8秒／20秒）**
4. **キャプションテープのほか一般のテープもステレオ再生できます**
5. **テープ操作が確認できる確認音機能**
6. **軽く押すだけでテープの操作ができるフルロジック機能**
7. **テープの両面を連続して再生できるオートリバース機能**
8. **誤操作を防ぐことができるホールド機能**

※キャプション機能は、専用のカセットテープが必要です。

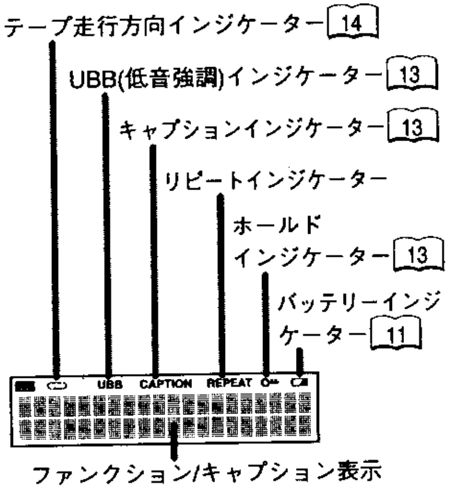
各部のなまえ

本体

□内の数字は、参照ページを示します。

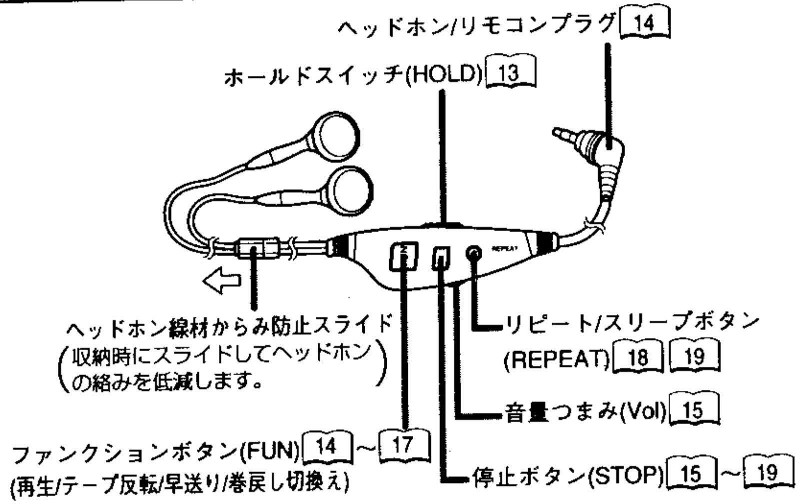


液晶ディスプレイ



各部のなまえ（つづき）

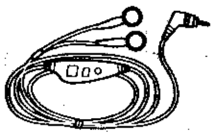
リモコンユニット



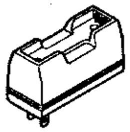
付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

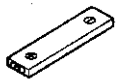
- リモコンユニット×１



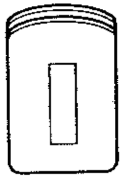
- 充電器（CP-BCC1）



- 充電池（GP 6E）×１



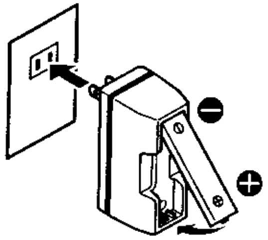
- キャリングケース×１



- 取扱説明書×１
- 保証書×１
- ご相談窓口一覧表×１

電源について

充電池で使うには



・お使いになる前に必ず充電してください。

1. 充電器に充電池をセットします。
   ・充電池の⊖側から押し込んでください。

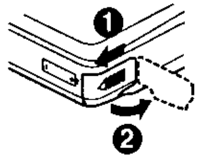
2. 家庭用AC100V（50/60Hz）コンセントに充電器を差し込んでください。
   ・約3.5時間でフル充電になります。

充電に関するご注意（1）

・必ず付属の充電器（CP-BCC1）および充電池（GP 6E）をお使いください。
・充電中は充電器と充電池が多少あたたかくなりますが、異常ではありません。
・8時間以上の充電（過充電）をしないでください。充電池の寿命が短くなります。
・充電後は、充電器をACコンセントから抜いてください。
・約3.5時間でフル充電になります。
・初めて充電するときや、1週間以上使用しなかったときは、充電しても早く消耗して通常の使用時間より短いことがあります。何回かくり返して充放電すると通常の状態に戻ります。

充電池／乾電池の入れかた

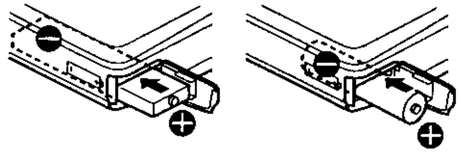
1



充電池/乾電池ふたを開けます。

- ふたを図の①の方向にずらし②の方向に開けます。

2



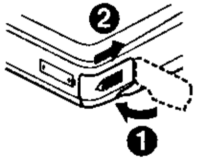
充電池または単4形乾電池を入れます。

- 向きを間違えないように⊖側から入れます。

※ 乾電池を使用する場合は別売の単4形乾電池をご使用ください。

※ 乾電池は単4形アルカリ乾電池をおすすめします。

3



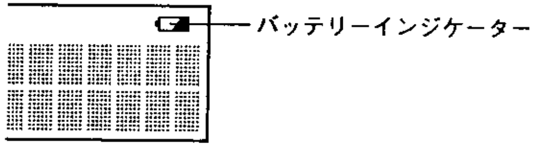
充電池/乾電池ふたを閉めます。

充電に関するご注意（2）

- ACコンセントに差し込んだ充電器の近くで、ラジオ放送やテレビ音声を受信すると、雑音が入ることがあります。
  そのときは、充電器から離して使用してください。
- 充電池は使わないで放置しておいても自己放電します。
  また、充電池には他の金属物などが触れないよう注意してください。
- 充電池が放電し終わり本機が動作しなくなったり、長時間使用しない時は、充電池を必ず取り出しておいてください。

テリーチェックについて

リー残量が少なくなってきますと、本体の液晶ディスプレイにあるバッテリーケーターが点灯します。



テリーインジケーターが点灯するようになったら、充電池を充電するか、新し電池と交換してください。
消耗すると、液晶ディスプレイが誤表示することがあります。（キャプショープを再生の場合、正しく文字が表示されないことがあります。）
合は充電池を充電するか、新しい乾電池と交換してください。

乾電池についてのご注意

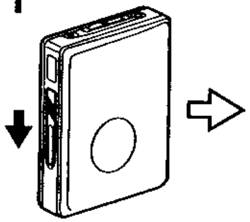
乾電池の誤った使いかたは、液もれや破裂の危険につながります。
次の点にご注意ください。

① 乾電池は⊕プラスと⊖マイナスの向きを間違えないよう、正しく入れてください。
② 長時間ご使用にならない場合は、乾電池を取り出しておいてください。
③ 乾電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しないでください。

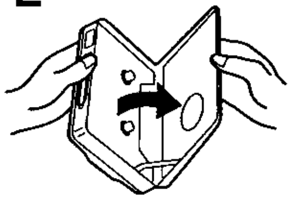
テープをお聴きになる前に

カセットテープの入れかた

1



2



カセットホルダーオープンスイッチ（OPEN）を矢印の方向にスライドさせます。

両手でカセットホルダーを開けます。

• カセットテープを入れ、カセットホルダーを閉めます。

カセットテープを取り出すには

カセットテープを取り出すときは、停止ボタンを押してから「カセットテープの入れかた」の1～2に従って取り出します。

• 必ず停止ボタンを押して、テープの走行を止めてからカセットホルダーを開けてください。

カセットテープを入れるときのご注意

• カセットテープがカセットホルダーに確実にセットされていない場合、カセットホルダーは閉まらない構造になっていますので無理に閉めないでください。故障の原因となります。
• カセットホルダーがうまく閉まらないときは、もう一度開けて、テープが正しく入っていることを確認してから再度閉めてください。

結露について

冷えている本機を暖かい部屋へ急に移すと、カセットヘッドや動作部に水滴がついて（結露現象）、正しく動作しないことがあります。
このような場合には1～2時間待ってから使用してください。

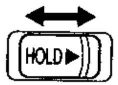
操作スイッチについて

■ホールドスイッチについて(ホールド機能)

誤操作を防ぐためのスイッチです。誤って再生ボタンが押されて、電池が消耗したり、テープの走行方向などが変わらないように操作ボタンをはたらかないようにしておくスイッチです。

- 本機には、本体側、リモコンユニット側それぞれにホールドスイッチがあります。

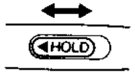
●本体



本体側のホールドスイッチをONにすると、本体のファンクション(FUNCTION)、リピート(REPEAT)、停止(STOP)ボタンがはたらかなくなります。(リモコン側での操作は可能です。)

本体液晶ディスプレイにホールドインジケーター(O⌐)が表示されます。

●リモコンユニット



リモコンユニット側のホールドスイッチをONにすると、音量調節つまみ以外のリモコン側のスイッチははたらかなくなります。(本体側での操作は可能です。)

※ リモコンユニットがホールドされていても、本体液晶ディスプレイにホールドインジケーター(O⌐)は表示されません。

■モード切換スイッチについて(本体左側スイッチ)

本製品は、キャプションカセットテープのほか、一般のカセットテープも再生できます。

再生するテープにより、モードを切り換えてから再生してください。

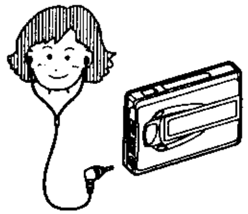
モード切換スイッチ	再生カセットテープ
CAPTION・UBB・STEREO (STEREO)	**一般のカセットテープを再生(ステレオ)**
CAPTION・UBB・STEREO (UBB)	**一般のカセットテープで低音を強めて再生(ステレオ)** テープ再生時、液晶ディスプレイにUBB(低音強調)インジケーターが点灯します。
CAPTION・UBB・STEREO (CAPTION)	**キャプションカセットテープを再生** テープ再生時、液晶ディスプレイにキャプションインジケーター(CAPTION)が点灯します。

ご注意

- キャプションカセットテープは"CAPTION"モード以外では再生しないでください。デジタルノイズにより聴力障害などの原因となることがあります。
- キャプションカセットテープは、キャプション対応機種以外では正常に再生できません。

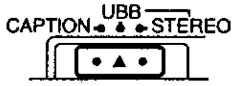
テープを聴くには

1



ヘッドホン/リモコンプラグを本体に接続します。
- しっかりと挿入されているか確認してください。

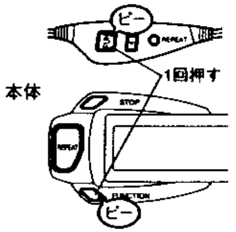
2



再生テープのモードを合わせます。

※キャプションテープは、片チャンネルに文字情報を記録していますので、UBB TAPEのモードで聴きますと、デジタルノイズにより聴力障害などの原因となることがありますのでご注意ください。

3



本体のファンクションボタンまたは、リモコンユニットのファンクションボタンを1回押します。
- 液晶ディスプレイに再生方向を表示し、テープ走行方向インジケーターの再生方向が点滅します。

FORWARD PLAY

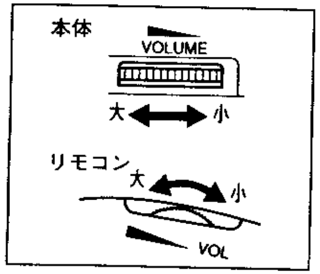
※キャプションテープ 再生時は、表示はすぐに消え、液晶ディスプレイに文字情報が表示されます。

再生モードについて

本機の再生モードは、オートリバース機能ですが、5往復しますと、自動的にテープエンドで停止します。

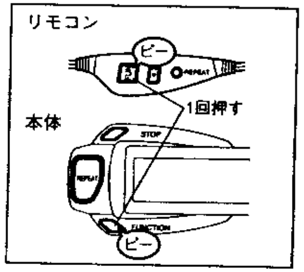
再生中に、無録音状態が続いた場合（約15秒）、自動的に次の録音部分まで、早送りします。テープの終端まで達した場合は、自動的に反転し、録音部分まで早送りします。

音量を調節するには



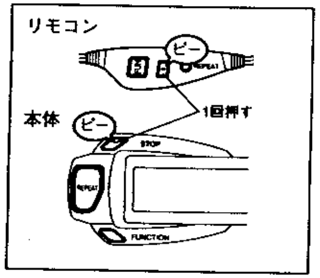
本体またはリモコンユニットの音量調節つまみで調節します。

再生中に反対の面を聴くには



本体またはリモコンユニットのファンクションボタンを押します。
液晶ディプレイには
REVERSE PLAY
と表示します。
もう一度押すともとの面に戻ります。

テープを止めるには



本体またはリモコンユニットの停止ボタンを押します。
液晶ディスプレイに
--- GOOD BYE ---
と表示します。

テープ操作時のお願い

- 操作ボタンは2つ以上同時に押さないでください。同時に押すと正しく動作しないことがあります。
- 操作ボタンは確実に押してください。正しく動作しないときは、もう一度押してみてください。
- テープが動作中に、カセットホルダーを開けないでください。テープを痛める原因になります。
- この製品をAM受信機の近くで使うとAM放送に雑音が入ることがあります。そのときは離してください。

音のエチケット

楽しい音楽もヘッドホンからもれる「シャカシャカ」という音は、周囲の人にとって気になるものです。特に密集した場所（電車やバスの中など）でお使いのときは、周囲の人の迷惑にならないよう音量を小さくしてお楽しみください。

早送り/巻戻し、スキップ選曲（ASAP）をするには

早送り/巻戻しは、停止状態で操作します。再生中は、スキップ選曲機能がはたらき、音楽テープなど再生中の曲をもう一度最初から聴いたり、次の曲を頭から聴くことができます。（ASAP=Auto Search and Play）
ボタンを連続して押すときは、1秒以内ですばやく押してください。

早送りをするには

停止状態で、本体またはリモコンユニットのファンクションボタンを2回連続して押します。

液晶ディスプレイの表示

FORWARD F F
(REVERSE F F)

巻戻しをするには

停止状態で、本体またはリモコンユニットのファンクションボタンを3回連続して押します。

液晶ディスプレイの表示

FORWARD REW
(REVERSE REW)

再生中に次の曲を聴きたいときは（スキップ選曲）

再生状態で、本体またはリモコンユニットのファンクションボタンを2回連続して押します。

液晶ディスプレイの表示

FORWARD F F ASAP
(REVERSE F F ASAP)

再生中の曲をもう一度聴きたいときは（スキップ選曲）

再生状態で、本体またはリモコンユニットのファンクションボタンを3回連続して押します。

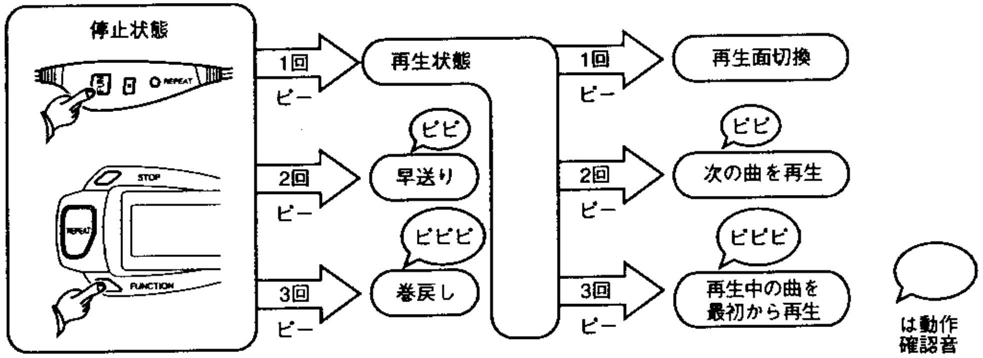
液晶ディスプレイの表示

FORWARD REW ASAP
(REVERSE REW ASAP)

• FORWARD/REVERSEはテープの再生方向を示します。

早送り/巻戻し、スキップ選曲（ASAP）をするには

■停止/再生時におけるファンクションボタンの機能



早送り / 巻戻しを停止するには

停止ボタンを押します。

スキップ選曲について

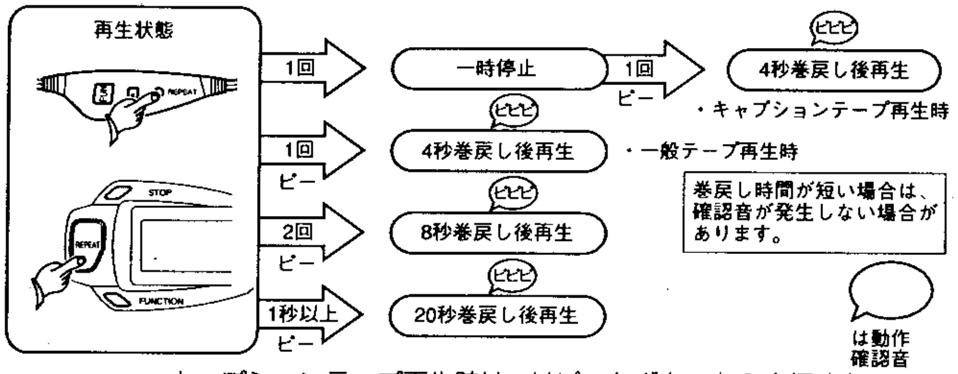
スキップ選曲は、テープ上の比較的長い無録音部分を検出することによって動作する機能です。次のような場合は選曲機能が正常に動作しないことがありますので注意してください。

- 曲間の短いテープ（約4秒以上の無録音部分が必要です。）
- 非常に小さい音が続いたり、曲のなかに無音状態があるテープ。
- 会話、会議など、音声が途切れているテープ。
- 曲間に雑音、ハムノイズが録音されているテープ。
- 録音レベルが低いテープ。

リピート再生するには

4秒、8秒、20秒の3種類の時間でリピート再生をすることができます。再生中に本体またはリモコンユニットのリピートボタンで操作します。

リピート再生



• キャプションテープ再生時は、リピートボタンを１度押すと一時停止状態となります。

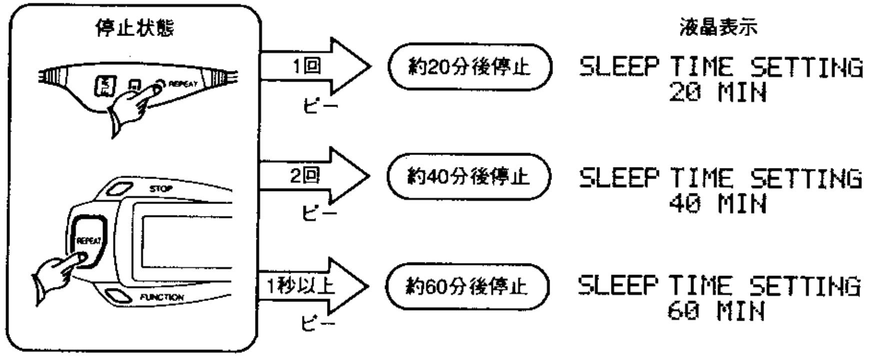
リピート再生を途中でやめるには

停止ボタンまたはファンクションボタンを押すと解除されます。

• 巻戻し時間は、テープの再生位置により多少異なります。
• 一時停止状態では、液晶ディスプレイのキャプションインジケーターが点滅します。

スリープ機能を設定するには

スリープ機能により、一定時間後に、自動停止します。停止中に、本体またはリモコンユニットのリピートボタンで設定します。

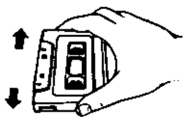


スリープ機能を解除するには

停止ボタンを押します。

使用テープについて

- ノーマルテープ専用です。
- C-120のテープは薄く伸びやすいためできるだけ使用しないでください。テープが機械に巻き込まれる場合がありますのでご注意してください。
- エンドレステープは使用できません。
- テープがたるんだときは鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。
- テープがかたく巻きしまったときはテーブルなどの上でカセットテープの両面を軽く数回たたくか、一度巻き直してからご使用ください。



キャプションテープ再生時のご注意

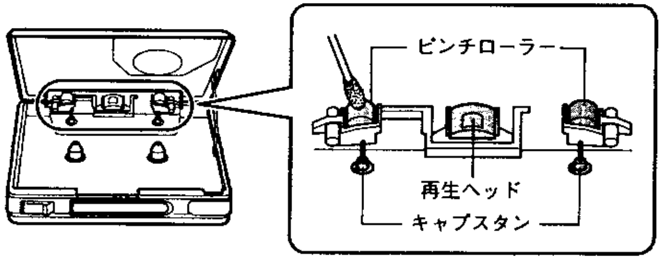
- 本製品は、インバータ付蛍光灯やパソコンから10cm以上離してお使いください。ノイズにより、液晶ディスプレイに文字が正しく表示されない場合があります。
- 再生中に"ピー"という小さなノイズ（文字情報のデータ）が聴こえることがあります。
- 一時停止後再生を始めた場合、文字情報と音声が最初の数秒間合わないことがあります。
- キャプションテープは、必ずキャプションモードで再生してください。デジタルノイズにより聴力障害などの原因となることがあります。
- カセットテープは、部分的に巻戻し・再生を繰返すとテープの巻取りに段差ができ、滑らかな再生ができなくなります。ときどき巻戻し・早送りをしてテープを巻き直してください。

キャプションテープの原理

- キャプションテープは、テープの右チャンネルに音声情報、左チャンネルに文字情報をデジタル信号で記録しています。
- 再生時は、音声情報をヘッドホンの左右からモノラルで、一方の文字情報はデジタル処理により液晶ディスプレイに表示します。

お手入れのしかた

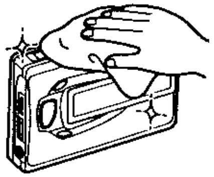
ヘッド部の清掃



- 良い音で再生を楽しむために、およそ10時間使用するごとに清掃してください。市販のクリーニング液か、アルコールを含ませた綿棒で、ふいてください。そのときヘッド面にキズがつかないよう、汚れをぬぐいさるように清掃してください。
- 油をささないでください。故障の原因になります。

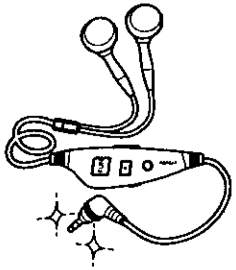
本体のお手入れ

汚れたときは



乾いた布で拭きます。
汚れがひどいときは布に少し水を含ませてください。

プラグはいつもきれいに



テープの動作不良や雑音の原因になります。

薬品類（ベンジン・シンナーなど）は使わないで！

変質・変色する場合があります。

故障かな？と考える前に

正常に動作しない場合は、下表により点検して見てください。なお、アフターサービスについては裏表紙をご覧ください。

こんなとき	原因と想われるところ	適切な処置	参照ページ
電源が入らない動作しない?	•電池の⊕⊖を反対に入れていませんか。	•正しく入れる。	10
	•電池が消耗していませんか。	•充電するか新しい乾電池と交換してみる。	11
	•ホールドスイッチが入っていませんか。	•ホールドスイッチを解除する。	13
"ピー"というノイズが大きく聞こえる	•キャプションテープをステレオ(UBB)モードで聴いていませんか。	•キャプションモードにする。	13
テープの音がふらつく?	•テープが伸びていませんか。	•交換する。	19·20
	•電池が消耗していませんか。	•充電するか新しい乾電池と交換してみる。	11

こんなとき	原因と想われるところ	適切な処置	参照ページ
テープの音がとぎれる 高音がでない?	•キャプスタンやピンチローラーが汚れていませんか。	•清掃する。	21
	•テープにしわがあったり伸びたりしていませんか。	•交換する。	19·20
	•ヘッド部が汚れていませんか?	•清掃する。	21
リバース機能がはたらかない? (ファンクションボタンを押さないのに、反転を繰り返す。)	•電池が消耗していませんか?	•充電するか新しい乾電池と交換してみる。	11

仕様

テープ部

トラック方式：4トラック2チャンネルステレオ
使用テープ：ノーマル
周波数範囲：125Hz～10,000Hz
再生可能テープ：キャプションテープ/一般カセットテープ

共通部

出力端子：ヘッドホン端子（φ3.5mm）
実用最大出力：5mW+5mW（EIAJ）
電池持続時間：約4時間（付属の充電池使用時：フル充電）
：約3時間（別売アルカリ単4形乾電池R03P使用時）（EIAJ）
電源：充電池　DC1.2V（付属充電池 GP 6E）
：乾電池　DC1.5V（単4形乾電池×1個）
最大外形寸法：110（幅）×77.7（高さ）×26.5（奥行）mm
質量：約180g（充電池含む）

●使用およびデザインは改良のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス（必ずお読みください。）

■修理を依頼されるときは
本機が正常に動作しないときは22ページ「故障かな？と考える前に」をお調べください。それでも不具合な場合は、ご自分で修理なさらないで、別紙（黄色用紙「ご相談窓口一覧表」のご相談窓口にお問い合わせください。その際は、次のことをお知らせください。

形名：CP-C1
症状：できるだけ詳しく

■保証について
●この商品は保証書付きです。
保証書は、販売元で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

●保証期間は、お買い上げの日から1年間です。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
●保証期間経過後の修理については、日立の「ご相談窓口一覧表」にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
●保証対象は、本製品のみです。本体の故障もしくは不具合により発生した、付随的損害（テープのからみ）の責については、ご容赦ください。

■補修用性能部品の保有期間について
ヘッドホンステレオプレーヤーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客様メモ：サービスを依頼されるとき、お役にたちます。

販　売　元：　　電話　　　　　－メモ－

ご購入年月日：　平成　　年　　月　　日

P/NO: 3828SNB001W

株式会社 日立製作所
〒105 東京都港区西新橋2－15－12
TEL (03) 3502－2111